愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	発達心理学		
担当者(Instructors)	橘 廣	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

社会に適応し、能力を最大限に生かし、生き生きと生活する方法を検討するためには、生涯を見通した広い視野が必要である。本講義では、発達心理学の基本的知見（認知機能の発達及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達、発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方、高齢者の心理）について理解を深め、発達を支援するために必要な事柄の把握を目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、グループワークやディスカッションを取り入れて行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	この講義の目標	生涯発達心理学の考え方、その研究法、授業の方針と全体の流れを理解する。	□
第2回	胎児期のさまざまな能力	胎児期のさまざまな能力、胎児へのタバコやアルコールの影響を知り、理解を深める。また出生時から医療を必要とする新生児の増加について考える。	□
第3回	乳幼児期の脳の発達と親子関係	ピアジェの発達理論を理解する。急激な脳の発達がみられる乳幼児期における親子のコミュニケーションの重要性について理解を深める。	□
第4回	乳幼児期の諸発達を促す遊び、教育	乳幼児期の諸発達を促す遊び、特に脳の前頭前野の機能を活性化する遊びについて理解を深め、その遊びを体験する。	□
第5回	発達障害（障害のある子どもたちの理解）	発達障害など障害のある子どもたちの理解と支援を考える。	□
第6回	乳幼児虐待	虐待を受けると子どもにどのような影響があるのか、脳への影響や心身の発達遅滞を知り、理解を深める。	□
第7回	認知機能の発達及び感情・社会性の発達	認知機能の発達及び感情・社会性の発達について理解を深める。	□
第8回	児童期の諸問題	児童期の諸問題、特に学校への適応、劣等感、いじめ、テレビの影響などについて考える。	□
第9回	自我同一性の発達	エリクソンの発達理論について理解し、特に青年期の課題である自我同一性の獲得について考える。	□
第10回	青年期の諸問題	青年期の諸問題、特に孤立や社会参加の遅延などについて調査結果より考える。	□
第11回	恋愛と結婚	配偶者の選択と結婚、家族の機能、家族関係の諸問題、「遠ざかる結婚」現象などについて考える。	□
第12回	親になること	親の養育態度と子どもの性格形成、子育ての楽しさとつらさ、仕事と育児の両立などを考える。	□
第13回	社会適応	ストレスと不適応、過剰適応、マズローの欲求の階層説などを理解する。	□
第14回	中年期から老年期の諸問題	中年期から老年期の諸問題、特に自我同一性の再確立、空の巣症候群、自殺、高齢者の犯罪などについて考える。	□
第15回	この講義のまとめ	本講義のまとめを行う。また理解度のチェックのためのテストを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、胎児期から老年期までの各発達段階に抱えやすい心理的な問題に関するニュース記事や参考図書などを基に、主要なキーワードについて、授業前までに予習をしたうえで授業に臨む（2時間程度）。 事後学習として、復習をするとともに講義の終わりに提示した課題について、授業中に配布した資料を用いて学習をする（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題に対しては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。また振り返りの小テストは、解説とともに解答例を提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			0%	100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回授業時の課題(各回テーマの重要事項に関する課題）提出物の内容　100%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適時資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦編　「よくわかる発達心理学」 ミネルヴァ書房	978-4-623-03928-9
2	内田伸子編　「よくわかる乳幼児心理学」　ミネルヴァ書房	978-4-623-05000-0
3	橘廣著　「子どもの手指活動と発達」　三恵社	978-4-86693-055-8
4		
5		